

生成 AI で生産性向上を目指しましょう！

AI がもっと身近に！実務に使える3回講座

経営視点で身に着く生成 AI 活用塾

小規模事業者及び中小企業の経営者や現場社員が、生成 AI についての事前知識や高度な IT スキルがなくても「経営視点で生成 AI を活用する力」を身につけ、自社の生産性向上・業務効率化につなげるための知識とスキルを、全3回を通じて習得します。

【1講座目】

11 月 4 日(火)
14:00~16:00

【生成 AI ビジネス活用の基礎】

- 生成 AI の基礎知識
- 文章作成事例で学ぶ生成 AI 活用
- 段取り・業務計画作成で生成 AI 活用
- プレゼンテーションで生成 AI 活用
- 新規企画で生成 AI
- 生成 AI ビジネス活用上の注意点

1 講座目の狙い

生成 AI(ChatGPT 等)のビジネス活用について重点的に学習し基礎を固めます。生成 AI を用いて実現可能な業務生産性向上の基本的な例を見することで、ビジネスでどのように活用できるかというイメージを抱いて「自社の場合はこんなことができそう」という着想が得られるようになることを目指します。併せて、生成 AI を使う上で留意すべきリスク・注意点にも触れます。

【2 講座目】

11 月 17 日(月)
14:00~16:00

【様々な AI ツールの使い道】

- ChatGPT 以外の生成 AI ツールと使い分け
- プロンプト設計の基礎と心得
- 画像生成・音声処理・動画処理などの各種 AI ツール紹介と活用例
- Microsoft Word/Excel 組み込みの生成 AI
- 手順書／レポート自動作成

2 講座目の狙い

ChatGPT 以外の生成 AI やマルチモーダル機能(画像処理、音声処理、動画処理等)を理解し、手書き文字の読み取りや議事録自動作成などビジネスシーンでの活用イメージを深めます。またプロンプト設計の基本を知り、より精度の高い回答を得るための質問の切り口や対話スキルを学びます。併せて、現場で考えられる生成 AI の具体的な適用領域を考察します。

【3 講座目】

12 月 5 日(金)
14:00~16:00

【生産性向上の応用】

- 生成 AI の自社向けカスタマイズ考え方
- ノーコード開発ツールの紹介
- 社内 Q&A チャットボットの開発
- 生成 AI 時代に人間に求められる役割とは
- 生成 AI 導入のステップと社内体制

3 講座目の狙い

自社に蓄積した情報と生成 AI を組み合わせ、プログラム技術なしで誰でも使えるノーコード開発ツールと連携する事例紹介をします。そしてより自社ビジネスに特化した AI システムがいかにか人の仕事を置き換え、生産性を飛躍的に高めるかという事実を認識し、その上で AI 時代に人間に求められる役割とは何かを考察します。最後に、ここまで全3回を通じて学んだ生成 AI を、自社の企業活動にどう活用していけるのか振り返りと整理をします。

【開催日時】

※1回目 11月 4日(火) 14:00~16:00【生成AIビジネス活用の基礎】

※2回目 11月 17日(月) 14:00~16:00【様々なAIツールの使い道】

※3回目 12月 5日(金) 14:00~16:00【生産性向上の応用】



〔講師〕

藤原 敬行 氏

●ナレッジフォース・パートナーズ合同会社 代表

コンピュータ大手企業のハードディスク部門にて生産技術・機械設計エンジニア、ソフトウェア商社およびシステム開発会社にて技術営業・経営企画等を経て 2011 年に独立。企業のリーダー人材育成・マネジメント教育、新規事業・新商品開発・業務効率化等の支援、および AI・データサイエンスなどのデジタル技術や SDGs 活用による企業の競争力強化を主要テーマとした経営変革コンサルティングを行う。

場 所 美濃商工会議所

(美濃市上条78-7)

受講料
定員

無料 定員 20 名

主 催 美濃商工会議所

対 象

中小・小規模事業者

(会員・非会員問わず)

【お問合せ】美濃商工会議所

TEL:0575-33-2168

★下記よりFAXにてお申込みください 【生成AI活用塾】受講申込書

美濃商工会議所 行 ⇒ FAX:0575-33-3183

(申込日: R7 年 月 日)

事業所名		T E L	
		F A X	
所在地		メールアドレス	@
受講者氏名 (何名でも可)			
参加セミナー □に✓をご記入ください	☐ 11/4(火)第1回セミナーに参加 ☐ 11/17(月)第2回セミナーに参加 ☐ 12/5(金)第3回セミナーに参加		

※ご記入いただいた情報は、当所からの各種連絡・情報提供のために利用するほか、セミナー参加者の実態調査・分析のために利用することがあります。